

# 平成30年度 学校運営連絡協議会実施報告書

## 1 組織

- (1) 東京都立蔵前工業高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成：主幹教諭(総務部主任兼務)＝事務局長、工業各科主任4名 計5名
- (3) 内部委員の構成：校長、副校長、経営企画室長、教務部主幹教諭、生活指導部主幹教諭、進路指導部主幹教諭、3学年主任 計7名
- (4) 協議委員の構成：大学教授1名、PTA会長、中学校長1名、町会長、企業代表者1名、同窓会長、所轄警察署員1名 計7名

## 2 平成30年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第1回：平成30年6月15日（金）内部委員5名、協議委員4名  
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出  
学校経営報告・計画、昨年度の学校評価について  
本校の現状と課題等説明、意見交換
  - 第2回：平成30年11月30日（金）内部委員5名、協議委員4名  
授業評価アンケート、学校評価アンケート、教育活動に関する報告  
協議委員からの教育活動に対する意見、協議
  - 第3回：平成31年2月8日（金）内部委員5名、協議委員5名  
教育活動に関する報告、協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議、次年度に向けた課題の確認
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
  - 第1回：平成30年11月30日（金）内部委員5名、協議委員4名  
授業評価、学校評価の方針確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察  
今年度の学校評価の実施に向けた検討
  - 第2回：平成31年2月8日（金）内部委員7名、協議委員5名  
今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、分析

## 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点  
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
  - ・12月：全校生徒 回収率：98.8%
  - ・12月：保護者全員 回収率：80.5%
  - ・12月：教職員 回収率：100%
- (3) 主な評価項目  
・学校運営、学習指導、生活指導、進路指導など
- (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）
  - ・生徒の入学満足度は年々高まっている。保護者のほとんどは入学させてよかったと考えている。
  - ・教職員の大半も肯定的に捉えており、施設、設備の充実や部活動の活性化が進めば、さらに満足度は上がると思われる。
  - ・生徒、保護者とも肯定的な回答が増えている中、授業改善に対する要望が多く見られるようになった。
- (5) 評価結果の分析・考察
  - ・過去4年間のデータを比較して、学校内及び社会のルールやマナーの遵守への取組に対しては、良い傾向を示している。
  - ・身だしなみ指導に対して、保護者は賛同的であり、今後も引き続き、生活指導面の指導を基盤とし、学習指導の組織的な取組を図り、進学実績の向上を期待する。

## 4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

- (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果
  - ・地域への学校の情報発信を工夫することで、学校の教育活動を見る機会を増やす努力をする。
- (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題
  - ・家庭での学習時間の伸長について、家庭と連携し、組織的な取組が必要である。

・近隣住民からは肯定的な意見の傾向が見られるが、地域の行事等への参画が更に必要と思われる。

## 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

### （1）学校運営

- ・生徒・保護者に対して、機会あるごとに学校の教育方針を説明し理解を得る。
- ・生活指導については、学校の指導体制と保護者との連携をこれまで以上に強化する。
- ・学力向上の取組や授業力向上等の校内研修会のより一層の充実を図る。

### （2）学習指導

- ・基礎的・基本的な内容の定着に向けて、生徒と教員間で隔たりがあるため、指導力の向上を図る。
- ・自宅学習時間を増やすための各教科・科目での取組みを工夫する。

### （3）特別活動

- ・学校行事を活性化するために、生徒主体の企画運営を推進する。
- ・部活動を活性化するために、部活動加入率向上への取組みを充実させる。

### （4）生活指導

- ・遅刻指導について、更に組織的・継続的な指導を行い、遅刻者ゼロを目指す。
- ・学校内外のマナー指導を含め、生活指導の徹底を保護者、地域と連携して充実させる。

### （5）進路指導

- ・教職員の進路指導力向上を図り、系統的なキャリア教育を充実する。
- ・進路指導の満足度は、生徒・保護者とも肯定的傾向が高いので、今後も充実に努める。

### （6）健康・安全

- ・「保健だより」を活用した健康指導の推進と、自助・共助の意識を高める安全教育の一層の推進を図る。
- ・震災時の生徒の安全確保について、指導を徹底するとともに、防災意識の向上を図る。

## 6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

### （1）協議委員人数 6人（無回答0）

### （2）学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない
5	1	0	0	0

## 7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

- ・参加実績：職員会議 0人、企画調整会議 0人
- ・成果：特になし

## 8 その他

- （1）学校評価アンケートの保護者回収率を高め、アンケート結果を学校経営に生かす。
- （2）学校評価アンケート結果の公表の方法を工夫する。